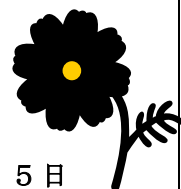


こすもす



平成30年3月15日
上田市立城下小学校

当たり前「さしすせそ」できたかな？

3学期終業式 校長講話より

《前略》 昨年に引き続き、今年も皆さんは、多くの本を借りました。図書館の尾沢先生にお聞きしたら、一人平均149冊の本を借りたそうです。よく読みましたね。また、城下小学校は、この一年間行方不明になった本は一冊もありませんでした。二年連続です。



できた人？「はい。」

こんなすばらしい学校はめったにありません。城下小学校の皆さんにとって、図書館の本を大切に扱い、ルールを守るということが、「当たり前」になったということですね。

それでは、今年一年間、児童会の皆さんや全校で努力してきたことが、「当たり前」になっているか、皆さんに聞いてみたいと思います。

これから、私がいうことが、自分では「当たり前だ」と思う人は手をあげてください。

- (1) 「さわやかな挨拶」ができたかな。できた人は手をあげてください。
- (2) 廊下は歩く。走る足音がしない「しずかな廊下」できた人は手をあげてください。
- (3) 集会など、無言で集合。「すばやい集合」できた人は手をあげてください。
- (4) 清掃中はおしゃべりしないで掃除をする。「せつせとお掃除」できた人は、手をあげてください。
- (5) 下駄箱の靴がそろっていませんか。「そろった下駄箱」できた人は手をあげてください。

この5つを「当たり前」にしていくと、そして「当たり前」のレベルを上げていくと、皆さんは、勉強も運動も友達関係も、さらに力を発揮できるようになります。

皆さんの力を伸ばす「当たり前 さしすせそ」でした。 《後略》

終業式の発表は、2年生と4年生でした。「できるようになったこと」をたくさん発表できました。



2年生は、自分の成長をふり返ったこと、なわとびが上達したこと、豆腐作りをしたこと等を、作文で発表しました。



4年生は、英語、縄跳び、跳び箱、版画、習字…等、実演や画像で、できるようになったことを発表しました。

6年生を送る会

3月8日(木)は、6年生を送る会を行いました。後輩たちは6年生の行動をよく見ていて、笑いあり感動ありの発表の中に、6年生の立派な姿を織り込んでいて、感謝と応援の気持ちを届けることができたと思います。送る会を盛り上げた、5年生の企画力も抜群でした。



1年
「ありがとう」の思いをこめた
メダルのプレゼント



2年
6年生が1年生の時に歌った
思い出の歌



3年
大きな夢への願いをこめた
オリンピック名場面



4年
ランキングで紹介した
6年生がすごいところ



5年
お笑いスターが勢ぞろいして
6年生へ感謝



6年
1~5年、それぞれに向けた
応援メッセージ

《卒業式の学校長式辞より抜粋》

思い通りの結果が出なかった原因を捉え、辛く苦しいことがあっても、自分自身が何ができるか考えて実行していく。それをしないで「他の人のせい」「周囲の環境のせい」にした瞬間、その人の成長は止まります。

本当に勇気のある人とは、自分に与えられた条件の中で、最善の努力をする人です。自分の人生は自分で切り開いていくものです。そして、皆さんが最善の努力をした時、初めて、皆さんを支えてくれる人、いい出会いが目の前に現れます。

中学校生活でも、様々な出会いが待っています。いい出会いを探し求める三年間にして下さい。

平成29年度末で転退職する先生

2年1組	関 美幸	上田市立清明小学校
4年2組	中村 和幸	退職
6年2組	小林 省子	上田市立北小学校
こすもす2組	山口 聡美	上田市立丸子北小学校
理科	福沢 拓美	上田市立西小学校
音楽	白井 叔子	上田市立本原小学校
事務	佐々木真由美	退職
事務	義家 知恵	退職



※ 平成29年もお世話になり、ありがとうございました。

(文責 鹿取ちか)